



<p>《<b>1年ビジョン目標</b>》</p> <p>神の約束の實現のために</p> <p>①<b>心を捨て払</b>る（悔い改め）</p> <p>②<b>約束の實現</b>（救いの福音）</p> <p>③<b>荒野の水城壁に川を</b>（<b>罪の克服</b>）</p>	<p>《<b>1年ビジョン宣言</b>》</p> <p>見よ、わたしは新しい事をなす。やがてそれは起る、あなたがたはそれを知らないのか。</p> <p>わたしは<b>荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる。</b></p> <p>（イザヤ43：19）</p>	<p>《<b>ビジョン</b>》</p> <p><b>新しいみわざの實現</b></p> <p>①<b>霊的革新</b></p> <p>②<b>宣教の前進</b></p> <p>③<b>伊野に新会堂を</b></p>
---	---	--

<p>●<b>報告</b></p> <p>◇母の日の感謝礼拝を迎えました。私たちの肉親の母親や教会のお母さん方の祝福をお祈りしましょう。</p> <p>◇ブラジル宣教師の新谷聡一郎先生は、5月21日（月）の夕方より24日（木）の朝まで高校に滞在されます。滞在期間中の集会は、新谷先生が担当して下さり、ブラジル宣教の報告をして下さいます。以下は集会の予定です。</p> <p>22日（火）午後8時～ 伊野教会</p> <p>23日（水）午前9時45分～ 越知礼拝会 昼食（欠礼）</p> <p>24日（木）午前8時40分～ 清教学園</p>	<p>●<b>告白</b></p> <p>◇15日（火）は、六治湯ノ清温泉のホテルアジュールで四国宣教使徒大会が開催されます。講師は教員永末人の岡野紀子先生です。</p> <p>◇Youth Jam 2012の受付が、始まりました。本大会は、8月14日（火）～17日（金）に代々木国立オリンピックセンターで開催されます。対象としては、中学生から39歳までの方々と、費用は3泊9食で16,000円、兄弟割として兄弟各人から1,000円引きとなります。また、交通費援助として9,000円を越えた額の援助があります。</p> <p>◇教会よりYJ参加費（学生のみ）のための特別献金が盛りまりました。苦い方々の救いのための献金をよろしくお願いいたします。</p>
---	---

## ●礼拝宣教導約 罪を赦す権威

●**聖書箇所**…マルコ2：1～12

「お母さん、僕は思っています（劇）故郷（ふるさと）なんかなくなってしまうんじゃないかと、そしてひとつ残っている故郷があるとすればお母さんそれはあなた自身です。あなたは何から何まで故郷そのものです（劇）そこでこうして轉かに目を閉じているとお母さんあなたの声が聞こえてくるんです（劇）おかあさんの声が聞こえてくるんです。この言葉は、歌手の武田鉄矢さんの『母に捧げるバラード』の唄りの台詞です。この後、「心も聞こえるあのおふくろの声（劇）心に人生を教えてくれた優しいおふくろ」と歌が始まります。「何でしょうとかねこの子は…」と謙しく叱られながらも、最後は「輝く日本の星となって燃つてこい」と。武田イクさんの昭和の母の心意気を感じる言葉です。

故郷を離れて30年以上になる私にとっても、何となくダブって感じる母に対する思いです。謙しい言葉にも逞しくぬ愛情を感じる母親の言葉には、神さまの赦しの愛にも通じる何かがあるような気がします。あなたのお母さんはいかがでしたか。

さて、今日は運ばれてきた中風の音の癒やしの言葉を通して、「罪の赦し」をテーマにして御書をお取り次ぎいたします。

### 1. 持つべきものは心

イエスさまの伝道の本拠地であるカペナウムでの出来事です。巡回伝道の合間をこのカペナウムには、イエスさまの家があったわけではありませんが、イエスさまに好意を寄せる家々に滞在されていた様子です。この箇所は舞台は、ペテロの家であったろうと言われています。イエスさまの教えと癒やしのみわざを聞いた多くの人たちがカペナウムに集まって来ました。イエスさまの宿となったこの家は立錫の余地もないほど多くの人が集まっていたのです。

そこに連れて来てきたのが、六日の主人位であります中風の母でした。中風とは脳血管障害の後遺症（偏身）である半身不遂）がまひ、言語障害、手足にしびれや麻痺が現れる病です。ギリシャ語では パラルティコスです。バラは「心」を意味し、ルティコスは「地獄した音」を意味します から、合わせて「体の心音が地獄して、半身不遂になった音」というほどの意味になるでしょう。

この半身不遂の人については、ただ「中風の音」とあるだけで、彼の人となりについてのそれ以上の説明はありません。彼に家族がいたのか、友人がいたのか、どんな家に住んでいたのか、生活費はどうしていたのか、何もありません。

彼は、ただ、イエスさまのところに運んで来られたのです。

「**人々がひとりの中風の音を聞かぬ人に運ばせて、イエスのところに連れてきた**」(3)と、ありますから中風の音には、少なくとも4人以上の協力音があったということです。「持つべきものは友」といわれますが、彼には彼を心配し、彼を執事う音が周囲にいたということです。武吉小路実篤はこのような名言を残しました。

「よき友を持つものは、自分の方でもよき友になれるものでなければならぬ。自分だけが得することは不可能である」（武者小路実篤人生論集 4 幸福の条件）

中風になり、体の自由が利かなくなったこの人には、彼を理解するよき友が多く存在していたことを物語っています。彼は多くの友を得る、よき友となる人柄であったでしょう。

### 2. 彼らの信仰

しかし、イエスさまの焦点は、彼を運ばせた人々と、運んできた4人の人に向けられます。人でいっぱいの家の中にいるイエスさまに近づこうとできなかった彼らは、建物の階段を上り、イエスさまのいる辺りの壁根をはがして穴を開け中風の音を手に寝かせたまま吊り下ろしたと言いますから驚きです。

非常事態極まりない彼らの行状を周囲の人々はどのように見ていたのでしょうか。主の建物は木材の張りの上に木の柱を渡し、むしろなどを敷いて、その上に土が盛られて踏み固められていたから、土埃舞い散る中で吊り下ろされて来る光景を見ながら、ある者は驚き声を失い、ある者は怒りの叫びを上げていたかも知れません。

しかし、イエスさまの眼差しは、彼らの行状の裏にある彼らの信仰を見ておられました(5)。彼らとは、この中風の音を運んだ4人を含めた彼を運ばせた人々と中風の音のことです。彼らの信仰とはどのような信仰だったのでしょうか。

彼らを運ばせた人々と中風の音を運んだ4人の信仰は、腐ついた音を放っておけない信仰です。彼らにはあきらめない信仰がありました。中風になったら終わりというあきらめはなかったのです。私たちは困難が見えてしまうと意気消沈して、あきらめの境地に至ってしまう事しきりです。

## ●聖書の光テキスト 聖書に出た虫

●**聖書箇所**…創世記8：1～9：17

①洪水の後、神はじっくりと時間をかけて回復の時を偲えられました。

○何にしても回復のためには、しばらくの時間を必専とする場合があります。性急に解決を求めたり、あせったりしていませんか。

②「箱船をばなさい」（8：16）との神のこぼしに従い箱船をばたノアはまず祭壇を築いて燔祭を捧げました。

○あなたは、神のなされた御業にまず専一に感謝する事を忘れていませんか。

## ●聖書日課 デイポーションTV http://agapetv.jp/

### 5月13日（日） 母の愛に訴える 1列3：16～28

●**内容観察**

「涙が困難な裁判を、ソロモンは神の知恵によって見事に裁きます。人々は神の知恵を見て、ソロモンを恐れるようになります。」

●**時間と適用**

【御書】 26節：この母親の愛は、キリストの愛の姿を表しています。子どもを自分のものになりたい母親は、子どもが死んでも構わないと思いました。しかし本物の母親は、子どもを生かすことを望み、相手の女性に与えることもいといませんでした。これこそ本物の愛です。イエス様も、ご自分のいのちをささげるほどに、私たちを愛してくださったのです。

適用…私たちの愛は、自分中心的な愛でしょうか。それとも相手を生かす愛でしょうか。イエス様の愛をつつ実践しましょう。

## 5月14日（月） 具体的に求めます！ マコ10：46～52

●**内容観察**

イエス様のうわさを聞いていたバルテマイという盲人が、手でイエス様を呼びました。人々は彼を黙らせようとしたが、イエス様は弟子たちに彼を呼んでくるよう命じ、彼に向を望んでいるかをお問になりました。

●**時間と適用**

【御書】 49 節：ご自分を求める者に目を留めてくださるお方です。目の見えないバルテマイは、イエス様のあわれみを求めて叫びました。人々は彼を黙らせようとしたが、イエス様は彼の声に応えられました。主は、助けを求めて叫び求める声を決して放っておかれません。

適用…神様はあなたの叫びを聞いてくださっています（参／書120：1）。たとえ周りの人たちに「無理だよ」「あきらめなよ」などと言われても、主の答えをいただけるまで神様に求め続けましょう。あきらめずに神様からの答えを待ちましょう。

【御書】 52 節：いやし主なるお方です。そして、そのいやしは信仰があるところに行われます。バルテマイのように、主にはいやしがある心から信じているなら、主は「信仰」という管を通して働かれます。

## 5月15日（火） 息災に従った弟子たち マコ11：1～11

●**内容観察**

イエス様がろばの背に乗ってエルサレムに入城された時、人々は「ホサナ。祝福あれ」と叫びました。

●**時間と適用**

【御書】 7節：ろばの背に乗って来られる、平和でへりくだったお方です。イスラエルはそれまで、外侮の勝利の象徴である軍馬を求めていました。しかしイエス様はそのような人間の力によるのではなく、平和でへりくだりによって、イスラエルを救われたのです。

適用…権力や』によって現状を変えようとするのではなく、イエス様にならって平和によって、問題に対処しましょう。

【御書】 11 節：イエス様はエルサレムに着くと、真っ先に宮に入られ、それからすべてを見て出られました。エルサレムでまず優先されたのは宮でした。イエス様は、まず神を礼拝することを優先されたのです。それがイエス様にとっての源であり、最も大切なことであったのです。

適用…祈り、賛美、デイポーションは、個人的な礼拝です。神様を礼拝することを生活の優先にしましょう。また、デイポーションの中で、その日神様が働かれている優先事項を明確にしましょう。

（概観） 1 ～ 6 節：イエス様は、村に行って、誰も乗ったことのないろばを引いてくるようにと弟子たちに命じました。弟子たちは詳細なその命令を聞いて、命じられた通りにろばを連れてきました。人間的な思いでは不可能に思えるようなことで、

## 5月16日（水） 乳を結ぶ大切さ マコ11：12～25

●**内容観察**

イエス様はいちじくの木をのろわれ、音の中で乳り飲いをしている人々を追い出しました。そして、神を信じ、祈った通りになると信じるならその通りになることを教えられました。

●**時間と適用**

（戒め） 12 ～ 14、20 ～ 21 節：イエス様が、葉のほかは何もないいちじくをのろわれると、その木は枯れました。これはイスラエルに与えられたはずの救いが、異邦人に渡ることを示しています。実を結ぶ使命を持ったものが本来の使命を果たさない限り、主はそれを取り上げることがあります。

適用…主から明確な導きを受けていながら、実践することをためらっていることはないでしょうか。主、主からの促しがあるならば、すぐに行いましょう。六日、どのような一歩を踏み出すことができるでしょうか。

（運けるべき行動） 15 ～ 18 節：イエス様は宮の中で売り買いしている人々を追い出し、「祈りの家を強盗の巣にした」と激しく叱責されました。礼拝の場や祈りの家は聖別されるべきものです。また、私たち自身も神の宮ですから、聖別された祈りの家となるべきところなのです。

適用…礼拝や祈り、神に対する奉仕を聖別するために、何ができますか。神の宮である教会や自分を、神の住まわれる場所としてきれいにしましょう。罪を悔い改めて、聖霊様をお迎えしましょう。

## ●聖書日課 デイポーションTV http://agapetv.jp/

### 5月13日（日） 母の愛に訴える 1列3：16～28

●**内容観察**

「涙が強いられますが、いやしを受け取る準備が整います。主との信頼関係が築かれるように、また強い関係が築かれるようになることを期待して祈り続けていきましょう。

適用…聖書に精通して神の知恵をいただき、人の心を深く理解できるように求めましょう。六日判断すべきことがあれば、まず神様とそのみことばに目を傾けましょう。

●**今日のお祈り**

主よ、人を本心に生かす道を導かれますように。直面している問題に、すばらしい解決を与えてください。

## 5月14日（月） 具体的に求めます！ マコ10：46～52

適用…いやしは困難に起こることもありますし、時間をかけて行われることもあります。忍耐が強いられますが、いやしを受け取る準備が整います。主との信頼関係が築かれるように、また強い関係が築かれるようになることを期待して祈り続けていきましょう。

（概観） 51 節：イエス様は、バルテマイが求めていることが何かをご存じでしたが、それでも「何をしてほしいのか」と聞かれました。イエス様は、彼の口から具体的な願いを聞くことを願われたのです。

適用…主は一方通行ではない愛のやりわり、具体的な祈りをいつも求めておられます。

自分の祈りを繰り返し、具体的に伝えましょう。

●**今日のお祈り**

いやし主なるイエス様。私に六日、「何をしてほしいのか」と言われているのですね。主よ、私は「〇〇して」いただきたいです。そうしてくださることを信じて感謝をいたします。

## 5月15日（火） 息災に従った弟子たち マコ11：1～11

しっかりと具体的な方法を求め、その通りに忠実に行うことによって、みこころが実現するのです。

適用…みことばからいただくご命令に対して、具体的にどうすればよいかを求めましょう。イエス様に信頼して、命じられた通りに行ってみましょう。

●**今日のお祈り**

神様、あなたが与えてくださったチャレンジを実現するための具体的な方法までも教えてください。六日、何を優先すべきかを具体的に教えてください。

NOTE

まだだれも乗ったことのないろばの背（26節） そのろばが聖なる用途に用いられることを示す。

ろばの背をイエスのところに引いてきて、…イエスはその背にお乗りになった（7節）

エルサレムへの巡礼の旅の最後は、自分の足でたどるのが慣例であるが、イエスはろばの背に乗られた。このことによってイエス様は、ゼカリヤ書 9章 9節の成就を示し、ご自身がメシヤとしてノ京することを明らかにされた。

ホサナ、心の奮起によってきたる背に、祝福あれ。（9節） 人々は「ホサナ、すなわち「六、救ってください」と叫んだ（参／書118：25）。続く「祝福あれ。主の御名によって来られる方に」も書高118 篇26 節に由来する。

## 5月16日（水） 乳を結ぶ大切さ マコ11：12～25

（約束） 22 ～ 24 節：神を信じ、この山に向かって「動いて海に」れ」と言って、心の中で疑わず、自分の言った通りになると信じるなら、その通りになります。信じることと、信じたことを告白することを通して、神の栄光が現れるのです。

適用…自分の信じていることや受けた約束をしっかりと書き留め、大胆に告白していきますでしょう。

●**今日のお祈り**

神様、あなたが私に実を結ばせるために、この地上に命じてくださっていることを感謝します。あなたとの交わりを大切にします。あなたからいただいた約束を信じるだけではなく、宣言していきます。

NOTE

いちじくの木（13節） イスラエルを象徴している（参／エレ8：13、ミカ7：1）。梨の茂ったいちじくの木を遠くからごらんになって、その木に何かありはしないかと近寄られた（13～14節） 村をぐる回に見かけたいちじくの木は、前日にイエス様がエルサレムに対して感じたことを見事に象徴している。「遠くに見えた」いちじくの木は葉を育て、「何かありはしないか」との期待感を抱かせるが、そばに近づくと、実は1 つもついでない。それが、エルサレムの豊饒実態であった。離れて見れば活気があり、期待感を抱かせるが、近くに来てみると空虚な実態が明らかになる。イエスはいちじくの木をのろわれるが、それはエルサレムに臨もうとしている神の裁き（参／13：2）の予告であった。